

前期基本計画 計画期間 平成24年度～28年度（5年間）

基本計画では、基本構想で示した基本目標を実現するため、施策ごとの現状と課題を明らかにし、それに対する基本方針や施策の内容を示します。



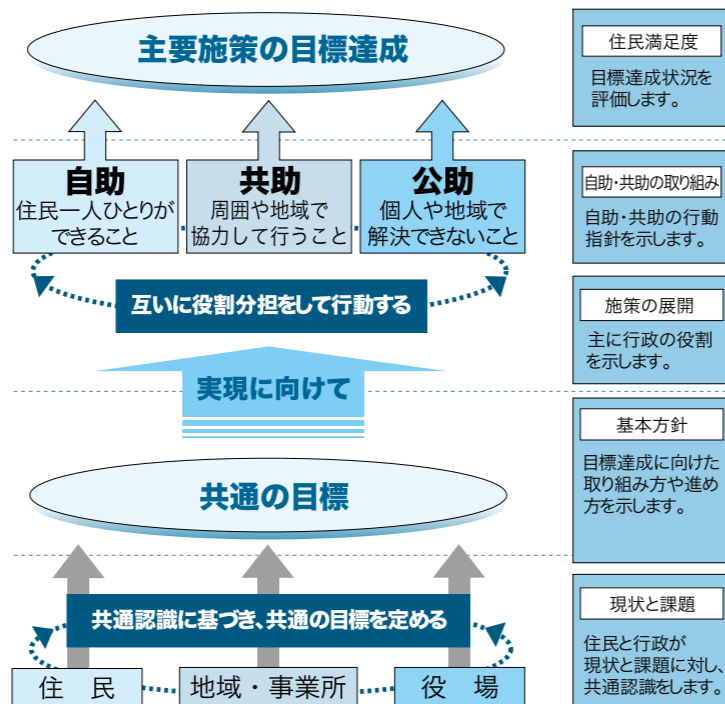
■自助・共助の取り組み

今回の総合計画では、さまざまな分野ごとに住民、家庭、地域や事業所などにおける自助・共助の行動指標を示しています。

住み良いまちを目指して、まちづくりに関心を持ち身近なところから取り組みましょう。

住民協働による目標達成の仕組み

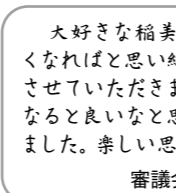
基本計画で示す主要施策をまちづくりにおける住民と行政の共通の目標と位置づけ、共通認識のもとに互いに役割分担をしながら行動します。また、主要施策の目標達成状況については、施策に対する住民満足度や意識・関心度の向上を図ることで評価します。



総合計画は皆さんの生活にとって身近で大切な計画です



この町が大好きです。ため池や田園風景に季節感を感じ、地元の新鮮な野菜を食し、澄んだ空気のもと元気な人々が暮らすまち。稲美町は日本一素敵なまちになると信じています。
審議会委員 佐竹 良子さん



大好きな稲美町がもっと暮らしやすくなればと思い総合計画審議会に参加させていただきました。毎回こんな町になると良いなと思っていることを提案しました。楽しい思い出になりました。
審議会委員 野瀬 昭子さん

ご協力ありがとうございました

計画書の作成にあたり、多くの住民の皆さんにご協力をいただきました。ありがとうございました。
・多くの方々にアンケートに協力していただきました。
・審議会では11回にわたり審議会委員の皆さんに熱心に審議していただきました。
・計画書には住民の方が撮影した稲美町の風景などを掲載しています。

計画書が閲覧できます

第5次総合計画書は、役場1階ロビー「情報公開コーナー」や稲美町立図書館で閲覧できます。ぜひ一度ご覧ください。
また、町ホームページでも全ページご覧いただけます。概要版も作成していますので、ご希望の方は企画課までお問い合わせください。

人口増加対策“住民プロジェクトチーム”を募集します

～あなたの提案でまちを元気にしませんか～

- 募集期間 5月1日（火）～7月17日（火）
- 応募資格 5人以上で構成されたチーム
- 提案内容 人口増加に効果のある具体的な事業（この事業の目的に反することは除きます）
- 提案発表 平成24年11月に開催予定の協働まちづくり100人会議で発表
- 参加賞 発表していただいたチームごとに10,000円（稲美町共通商品券）
- その他 応募をお考えのチームは、平成24年6月に開催予定の「協働まちづくり100人会議」に参加してください。（詳細は6月号広報に掲載します。）
- 応募・問合せ 応募用紙に必要事項を記入し、FAX、メール、郵送等で応募してください。応募用紙は町ホームページからダウンロードできるほか、郵送、FAXでもお送りします。企画課政策・行革係 ☎492-9130 FAX492-5162 メール：kikaku@town.hyogo-inami.lg.jp

第5次 稲美町総合計画がスタートします

平成24年度を初年度とする第5次稲美町総合計画を策定しました。総合計画は、まちづくりの総合的、かつ基本的な指針となる大切な計画です。これをもとにすべての住民が、夢と安心を持てるまちづくりを進めていきます。

基本構想 計画期間 平成24年度～33年度（10年間）

これまでの総合計画のまちづくりの理念を継承しつつ、社会情勢の変化、住民意識の動向を踏まえ、町民憲章にうたわれている住みよいまちをつくるために、基本理念を次のとおりとします。

基本理念 「人と緑のホームタウン いなみ」

～万葉の豊かさを協働でつなぐ活力あふれるまちづくり～

基本目標 基本理念に基づき、次の5つの基本目標を定めてまちづくりを進めていきます。

- 基本目標1 自然と住環境が調和した安全で快適なまち
- 基本目標2 誰もが健康でいきいきとし子どもの笑い声が響くまち
- 基本目標3 人とひとの絆を深め子どもの夢と志を育てるまち
- 基本目標4 地域の特性をいかした活力とにぎわいのあるまち
- 基本目標5 住民協働でつくる自立したまち



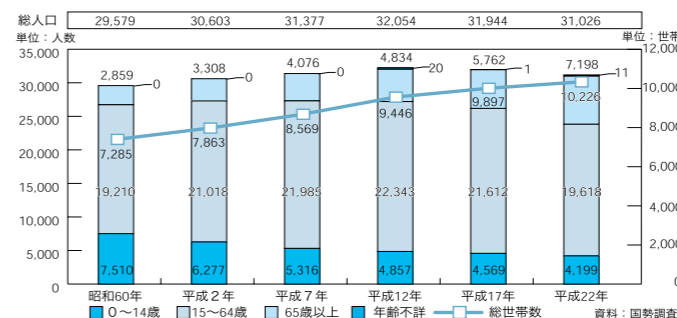
まちの人口

■将来人口

現在の人口推移に基づき、本町の将来人口を推計すると、総人口は今後、減少傾向にあることが予測されます。

しかしながら、これまでのまちづくりの歩みや、土地利用の推進、住民生活や産業の維持・振興などを総合的に判断し、目標人口を35,000人とします。

そのため、人口減少に歯止めをかけることを最優先課題として、様々な施策を総合的に取り組む必要があります。



3つの人口指標による元気づくりの仕組み



■交流人口と活動人口

定住人口を増やすだけでなく、本町を訪れる「交流人口」を増加させるとともに、子どもから高齢者まで、住民一人ひとりが活動する「活動人口」を増加させることも重要です。